

**特別定額給付金（1人10万円）の申請はお済みですか？**

申請期限は8月18日（火）です。※当日消印有効

期限までに申請を行わなかった場合は辞退したものとみなされ、給付金を受けることができなくなります。申請がお済みでない方は、お早めにお手続をお願いします。

申請書が届いていない場合などのご連絡ください。

問合せ 小川町役場 特別定額給付金室 ☎ 460、461、462

**国民年金からのお知らせ****口座振替納付（前納）について**

口座振替をご利用いただくと納め忘れの防止になり、また、まとめて納めると割引額が多く大変お得です。

口座振替の6か月前納後期（10月～翌年3月分）の申込期限は8月31日（月）※です。月々の納付より1,130円もお得です。小川町役場で申込みを希望する方は、8月19日（水）までに町民課（役場1階）で手続をしてください。納付書で6か月まとめて納付する場合の割引額は810円です。

※年金機構の申込期限です。

**任意加入制度について**

保険料の納付済み期間が480月に満たない場合、60歳から65歳になるまでの間、任意加入をして受給する年金額を増やすことができます。また、海外に在住する日本国籍の方も国民年金に任意加入することができます。保険料の納付は原則、口座振替になります。

ただし、老齢基礎年金の繰り上げ支給を受けている方や、厚生年金・共済年金に加入している方は任意加入できません。

**申請時に必要なもの**

年金手帳・印鑑（認印）・預金通帳・通帳届出印

問合せ 町民課 戸籍年金担当 ☎ 146

**住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度をご存じですか**

本人の代理人や第三者の請求により、住民票の写しや戸籍謄抄本などを交付したときに、登録申請された方に交付の事実（通数、請求者の種別等）について通知をお送りしてお知らせする制度です。住民票の写しなどの不正請求の抑止や不正取得の早期発見につながります。

**登録できる方** 当町の住民基本台帳に記録されている方、戸籍に記載されている方

**登録の方法** 印鑑と運転免許証などの本人確認資料をご持参いただき、町民課（役場1階）で申請してください。代理人が申請する場合は、登録を希望される本人からの委任状が必要です。

問合せ 町民課 戸籍年金担当 ☎ 143

**障害者計画・障害福祉計画等策定委員を募集します**

町では、障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画の策定に着手します。計画に広く町民の皆さんの意見を反映させていくために、障害者計画・障害福祉計画等策定委員を募集します。委員会は公募委員のほか、障害者団体、保健、医療、福祉関係者等で構成します。

**募集人数** 2人（応募者多数の場合は選考）

**応募期間** 8月3日（月）～24日（月）※消印有効

**対 象** 町内に住民登録をしている20歳以上で、平日の日中に開催される会議（年2回程度を予定）に出席できる方

**任 期** 委嘱日より2年間

**応募方法** 応募動機を400字程度（形式自由）にまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、障害福祉関係の仕事やボランティア等の経験があればそれらを含めて明記し、健康福祉課（役場1階）へお持ちいただくか、郵送にてご提出ください。

**そ の 他** 応募時に提出した書類は、委員選考以外には利用しません。

**提出先・問合せ**

〒355-0392 小川町大字大塚55 健康福祉課 障害福祉担当 ☎ 156

**移住サポート通信 ～連載第49回～  
フレッシュな移住者たち その8**

緊急事態宣言解除後、公共施設の再開が徐々に始まりました。分校カフェ「MOZART（モザート）」も新しい生活様式を取り入れつつ、6月20日から営業を再開しています。今回は、小川町に移住後、分校カフェのリニューアルオープンを実現した、MOZART店長の有賀香織さんにお話を伺いました。

以前の住まい：東京都

小川町への移住を考えたきっかけは？

移居前から、小川町の有機農家さんと『畑から食卓まで』を1年間通して体験する食農体験教室『畑のがっこう』を主宰していました。その農家さんの紹介でMOZARTを知りました。今まで、東京を拠点にケータリングやフードスタイリスト、デザイナーとして仕事をしてきましたが、感染症の拡大をきっかけに、都市部よりも地方で食やデザインの仕事をしたいと考え移住を決めました。



有賀さんと給食をモチーフにした有機野菜たっぷりのメニュー・日替わりおまかせ定食

これから小川町でチャレンジしてみたいことは？

分校の特色を活かした企画、例えば小川町の米・野菜を使った手土産の開発やウェディング、野外イベントにもチャレンジしていきたいと思っています。直近では、家族や親戚などのお祝いごと向けケータリングや、事業所でのお弁当販売も始める予定です。

分校カフェMOZART 住 所 小川町下里824-1（旧小川小学校下里分校内）

定休日 不定休 問合せ・ご予約 ☎ 81-3015

～ おがわまちが好きだから もっと知りたい ～

**観光案内所「楽市おがわ」通信 ～連載第38回～**

夏です。暑いですが！新型コロナウイルスの影響で、お子さまたちも少ない夏休みとなってしまいましたね。この通信欄では、小川町に残る遺跡や伝統文化、文化財などを順次紹介して、小川町を更に知っていただきたいと思っています。

今回は、「百庚申」についてです。「庚申講」を行った記念や供養のために建てられる「庚申塔」を、一か所にまとめて100基建てたものを「百庚申」と呼びます。小川町には、青山の仙元山と下横田の国道254号バイパス農産物直売所の裏手（写真右）の2箇所にあります。



庚申信仰は中国の道教に由来するものです。干支（えと）の組み合わせで60回に一度巡ってくる庚申の日、体内にいるといわれる三尸（さんし）の虫が、寝ている間に天に昇ってその人の罪科を天帝に告げ、寿命を縮めると言われていました。そのため庚申の日は、一か所に集まり夜を徹して飲食や歓談をして過ごしました。無病息

災を願い地域のコミュニケーションの手段として江戸時代に大流行しました。

庚申信仰の本尊は仏教では青面金剛とされています。石像が吞龍様横にあるので、ご覧になってください（写真左）。憤怒の形相で邪気を懲らしめる姿をしています。いまは、新型コロナウイルスもやっつけてほしい、と願わずにいられませんね。

【楽市おがわ】営業時間 午前9時30分～午後5時（月曜休館） ☎ 74-1515



小川町移住  
サポートセンター

楽市おがわ2階

☎ 74-1515

火～日曜日

午前9時30分～

午後5時